



# 事業別経営計画書【B】

## ■基礎情報

所属名	学校給食センター	No.	1
事務事業名	給食センター運営事業		
総合計画 の体系	大分類	1	新しい時代を担う次世代を育む
	小分類	1	個性を伸ばし豊かな人間性を育む学校教育・生涯学習の推進
事業目的	食育の推進 地産地消の拡大 残菜量の軽減		
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 給食の調理・配送業務</li> <li>・ 正しい食習慣の指導</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>	
現在における課題	食の指導に当たっては、限られた時間で行わなければならないこと。 地場産物は、使用する種類や時期が限られていること。 献立により残菜が非常に多い日が見受けられること。		
平成 23 年度 に向けた改善策等	引き続き、「食」に対する指導を児童、生徒及び保護者を対象に行い、家庭内や地域に食への理解を深めていく。 本町建設農政課と連携して、地産地消を拡大していく。 残菜量は定期的に調査し、給食指導担当の先生と協力して軽減に取り組む。		

## ■作業工程（平成23年度）

月	作業内容
	学校での食育の推進 「食」に関する啓蒙活動  建設農政課、町内生産者との意見交換会及び試食会
6	残菜量調査
11	〃

## □3年間の目標

目 標	.					
	.					
項 目（単位）	H21 計画	H21 実績	H22 計画	H23 目標	H24 目標	H25 目標

## □2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H24	. .
H25	. .

## ■事業コスト

		単位	H21 年度決算額	H22 年度当初予算額	H23 年度計画額
事業費		千円	123,885	128,923	128,989
(内特定財源)		千円	102,202	57,871	58,607
人工	職員	人工		5.0	5.0
	臨時職員	人工		12.0	12.0
	計	人工		17.0	17.0

## ■平成 23 年度 計画額の主な増減 (前年度比 20%以上又は 50 万円以上の増減について計上)

(単位：千円)

事業番号	節	科目名称	計画額 (増減額)	増減理由
合 計				

## ■平成 23 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考
学校給食費負担金	58,606	
管理栄養士実習費負担金	1	
合 計	58,607	

## ■特記事項

--

## ■改善策等に対する取組内容

食に関する指導は、年間を通して、栄養教諭及び学校栄養職員が各小中学校に出向き、給食時の栄養指導や担任の先生とのT・T（チームティーチング）授業を行った。また、各小学校で開催される給食試食会で、保護者を対象に学校給食についてや食にまつわる問題点等を話し、保護者に食の大切さを伝えた。

地産地消の拡大については、年間を通して可能な限り、地場産物を給食の食材に使用した。また、建設農政課職員及び町内若手生産者等と年6回の意見交換会、1回の試食会を行った。

残菜量については、毎日、食べ残し分を計量した。詳細については、6月と11月に各5日間、主食と牛乳を含めて調査した。

## ■評価

子どもたちに食に関する指導を継続的に行ってきたことにより、保護者を含め児童・生徒は、食べ物を大切にすることや給食を残さず食べることの大切さを理解できたようである。しかし、子どもたちの食べ物の嗜好の違いにより、食べ残しの多い日があるのは否めない。

引き続き栄養指導や食指導を行うことにより、発育期にあたる子どもたちに、栄養バランスのとれた給食を提供し、残菜率の低減に努めていきたい。

地産地消の拡大については、農政の紹介で、地場産物を定期的に納入できる団体が見つかった。今後、農政の協力を得て、町内若手生産者と共に地産地消の拡大に期待が持てるようになってきた。

# 事業別経営計画書【B】

## ■基礎情報

所属名	学校給食センター	No.	2
事務事業名	給食センター施設管理事業		
総合計画 の体系	大分類	1	新しい時代を担う次世代を育む
	小分類	(1)	個性を伸ばし豊かな人間性を育む学校教育・生涯学習の推進
事業目的	施設の維持管理		
業務内容	・施設・器具類・備品等の保守点検及び修繕 ・ ・		・ ・ ・
現在における課題	建設後、22年経過した施設・器具類・備品等の老朽化		
平成23年度に向けた改善策等	保守点検及び修繕		

■作業工程（平成23年度）

月	作業内容

□3年間の目標

目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> </ul>					
項 目（単位）	H21 計画	H21 実績	H22 計画	H23 目標	H24 目標	H25 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H24	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> </ul>
H25	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> </ul>

## ■事業コスト

		単位	H21 年度決算額	H22 年度当初予算額	H23 年度計画額
事業費		千円	23,159	23,493	23,889
(内特定財源)		千円	0	0	0
人工	職員	人工		1.0	1.0
	臨時職員	人工		0.0	0.0
	計	人工		1.0	1.0

## ■平成 23 年度 計画額の主な増減 (前年度比 20%以上又は 50 万円以上の増減について計上)

(単位：千円)

事業番号	節	科目名称	計画額 (増減額)	増減理由
合 計				

## ■平成 23 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考
合 計		

## ■特記事項

--



## ■改善策等に対する取組内容

設備機器は、例年どおり保守点検を行い、予算の範囲内で不具合箇所の修理を行った。突発的に不具合が生じた場合は、可能な限り職員で対処し、応急復旧に努めた。

その他施設全体にわたり蒸気漏れ等、経年劣化による不具合が発生したが、学校給食業務に支障が出ないよう必要箇所の修繕を行った。

## ■評価

業者による設備機器の定期点検、また、職員による点検により、不具合箇所の早期発見につながったことがあった。こうしたトラブルを未然に防ぐ対応は、今後も継続して行うことが大切と思われる。更に、計画的な機器の更新と共に、施設全体の整備計画を確立していくことが重要である。